

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第9週の発生動向

### トピックス

#### インフルエンザ（定点把握対象疾患）：

インフルエンザの定点当たり報告数が8.75と前週の約0.6倍に減少し、今シーズン流行期に入って初めて流行警報レベル終息基準値(10.0)を下回りました(詳細後述)。

### 全数報告の感染症（9週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：報告なし。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、百日咳5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	女	無症状病原体保有者	—
		小林	30歳代	女	無症状病原体保有者	—
		高鍋	90歳代	男	肺結核	咳、痰
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	全身倦怠感、意識障害、肺炎
	百日咳	都城	5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		高鍋	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,128人(定点当たり26.1)で、前週比81%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

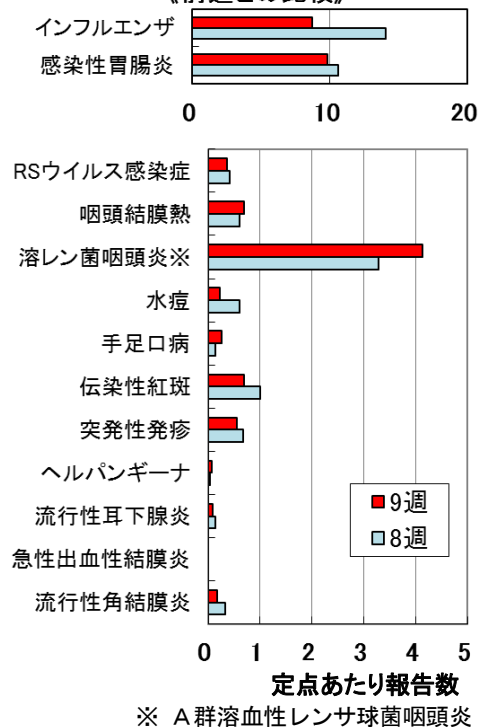
報告数は516人(8.8)で、前週比62%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(25.3)の約0.4倍である。延岡(14.4)、都城(10.1)、宮崎市(10.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めている。

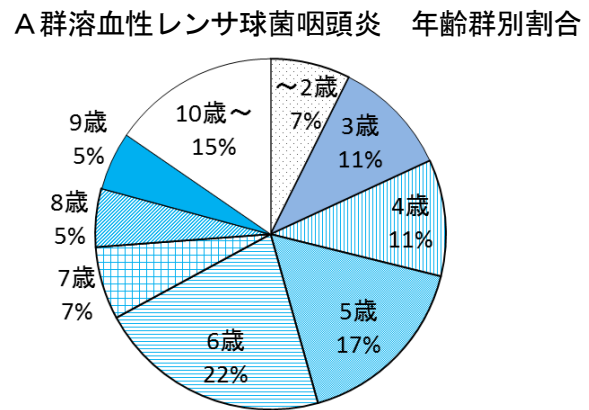
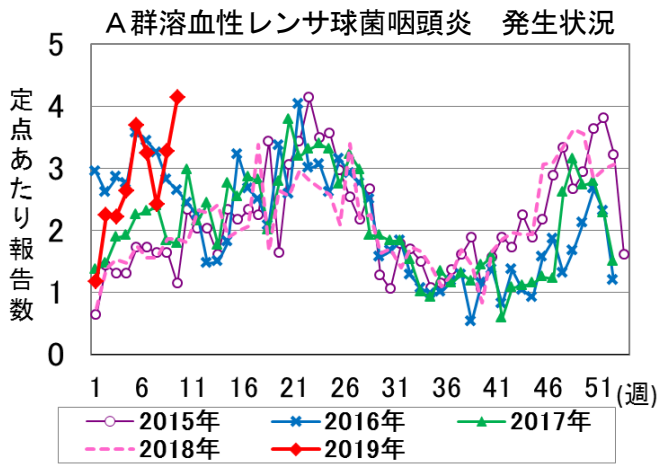
##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は149人(4.1)で、前週比126%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(2.0)の約2.1倍である。延岡(7.3)、高鍋(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では3~6歳が全体の約6割を占めている。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》





★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

日南保健所から2例報告があった。0～4歳で、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(10.0)
都城	インフルエンザ(10.1)
延岡	インフルエンザ(14.4)
日南	感染性胃腸炎(22.3),伝染性紅斑(4.0)
小林	感染性胃腸炎(27.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・水痘(1.0)

## 全国 2019 年第 8 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (全国第 8 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	352 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	20 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	8 例	A型肝炎	2 例	チクングニア熱	1 例
4類感染症	つつが虫病	2 例	デング熱	5 例	レジオネラ症	24 例
	アメーバ赤痢	18 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	37 例
	水痘(入院例)	6 例	梅毒	94 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	破傷風	1 例	百日咳	242 例	風しん	109 例
	麻しん	33 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 92 %と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

インフルエンザの報告数は 44,601 人(9.0)で前週比 72%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(22.9)の約 0.4 倍である。山形県(16.7)、福島県(16.6)、新潟県(15.4)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 5 割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は 18,999 人(6.0)で前週比 118%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(6.1)の約 1.0 倍である。愛媛県(11.2)、宮崎県(10.6)、大分県(10.5)からの報告が多く、年齢群別では 1～2 歳が全体の約 2 割を占めている。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第09週(02月25日～03月3日)

疾病名		第08週	第09週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	816	516	160	101	101	18	41	58	14	18	5
	定点あたり	14.07	8.75	10.00	10.10	14.43	3.60	8.20	9.67	7.00	3.00	2.50
RSウイルス 感染症	報告数	15	13	6	3				4			
	定点あたり	0.42	0.36	0.60	0.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	25	5	4	5	4		1		6	
	定点あたり	0.61	0.69	0.50	0.67	1.25	1.33	0.00	0.25	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	118	149	49	17	29	7	8	28	3	6	2
	定点あたり	3.28	4.14	4.90	2.83	7.25	2.33	2.67	7.00	3.00	1.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	382	355	56	78	3	67	82	37	3	24	5
	定点あたり	10.61	9.86	5.60	13.00	0.75	22.33	27.33	9.25	3.00	6.00	5.00
水痘	報告数	22	8	1	1	2	1	1			1	1
	定点あたり	0.61	0.22	0.10	0.17	0.50	0.33	0.33	0.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	5	9	2	7							
	定点あたり	0.14	0.25	0.20	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	36	25	9	2	1	12	1				
	定点あたり	1.00	0.69	0.90	0.33	0.25	4.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	20	11	3	1			3		2	
	定点あたり	0.67	0.56	1.10	0.50	0.25	0.00	0.00	0.75	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2		1		1					
	定点あたり	0.03	0.06	0.00	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	3		2							1
	定点あたり	0.14	0.08	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	1		1							
	定点あたり	0.33	0.17	0.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	2				2					
	定点あたり	0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～9週)

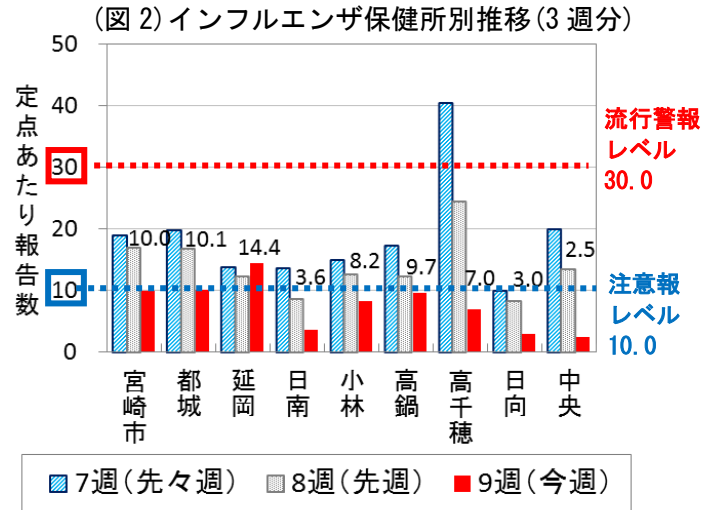
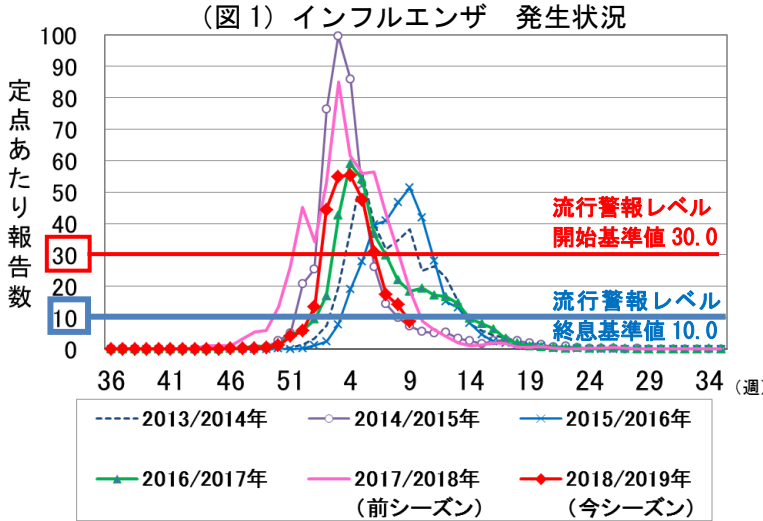
2類感染症	結核	29例(4)	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例	
4類感染症	チクングニア熱	1例	つつが虫病 3例
	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎 1例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症 3例(1)
	破傷風	1例	百日咳 53例(5)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例 梅毒 1例

( )内は今週届出分、再掲

# インフルエンザ情報 《県内第9週、全国第8週（再掲）》

## □ 県内第9週インフルエンザ発生動向

2019年2月25日～3月3日までの1週間で516人（8.8）の報告があった。前週の約0.6倍と減少しており、例年同時期の定点あたり平均値\*（25.3）の約0.4倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の25%、5-9歳が29%、10-14歳が19%、15-19歳が3%、20-59歳が19%、60歳以上が5%を占めている（図3）。  
 \*過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

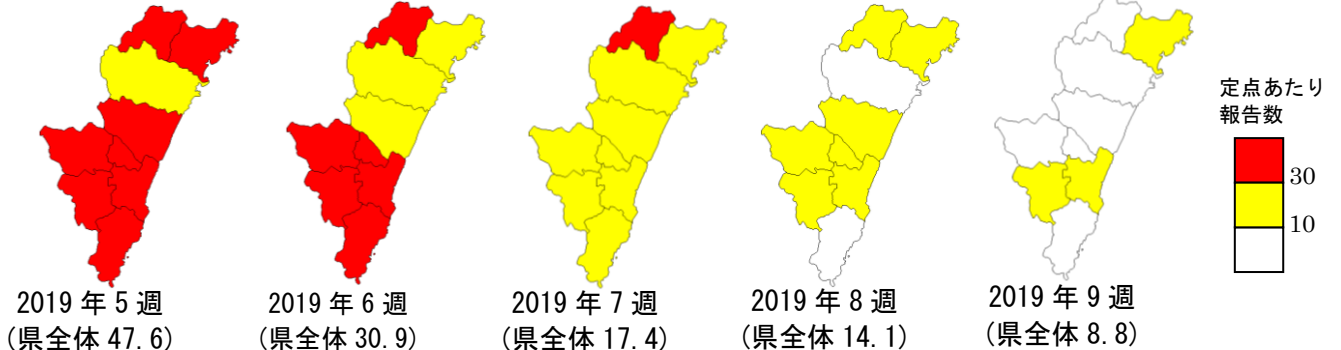


(図3) 年齢群別割合の推移(2019年第5週～第9週)

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
5週 2,760人	23%	28%	17%	4%	20%	8%
6週 1,790人	26%	29%	16%	5%	17%	7%
7週 1,007人	26%	29%	13%	5%	19%	8%
8週 816人	29%	32%	15%	2%	15%	7%
9週 516人	25%	29%	19%	3%	19%	5%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 ▨ 10～14歳 ■ 15～19歳 □ 20～59歳 ■ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2019年第5週～第9週



## □ 全国第8週インフルエンザ発生動向

2019年2月18日～2月24日までの1週間で44,601人（9.0）の報告があり、前週の約0.7倍と減少した。山形県(16.7)、福島県(16.6)、新潟県(15.4)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の22%、5-9歳が27%、10-14歳が15%、15-19歳が4%、20-59歳が22%、60歳以上が10%である。